

令和4年度  
小学校教育課程編成の手引  
【各教科等編】

---

音楽科における  
1人1台端末を活用した  
「個別最適な学びと協働的な学び」

---

北海道教育委員会

# 音楽科における1人1台端末を活用した 「個別最適な学びと協働的な学び」 (小学校)

## 1 題材の概要

学 年：第4学年

題 材 名：「我が国の音楽に親しもう」3時間扱い

題材の目標：我が国の音楽や旋律の特徴に気付くとともに、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付け、音楽づくりの発想を得ることができるようし、我が国の音楽に親しむ。

## 2 事例におけるICT活用のポイント

- ・ICT端末を活用することにより、音のつながりを様々に試し、聴覚と視覚から音の組合せの特徴を捉え、自らの表現に生かすことができます。

## 3 使用したソフトや機能

- ・音楽作成ソフト
- ・学習支援ソフト

### 【参考資料】

- ・新学習指導要領に対応した学習評価 (小学校 音楽科)  
(独立行政法人教職員育成機構)



# 音楽科における1人1台端末を活用した 「個別最適な学びと協働的な学び」 (小学校)

## 4 1人1台端末の活用例

### 【ICTの活用場面①】



#### 〔民謡音階で短い節づくりをする〕

- ・音楽作成ソフトを用いて、民謡音階で使用される音を自由に並び替えて節づくりをすることにより、楽譜が読めなかったり、楽器を演奏することが難しい児童も、即興的に音を選択して音楽づくりを楽しむことができます。
- ・児童は、作成した作品を聴いて確認したり、聴きたい箇所だけを取り出して音楽づくりを行うことができます。

### 【ICTの活用場面②】



#### 〔友だちのつくった節を聴き、自分がつくった節を修正する〕

- ・民謡音階に親しみながら、友だちの作品のよさを感じ取ったり、それぞれの作品の雰囲気の違いに気付き、自分の節をよりよいものにしていくことができます。
- ・音階を色で示すことで、児童は、自分がつくった節を聴覚と視覚で確かめ、音階の特徴を具体的に理解することができます。

# 音楽科における1人1台端末を効果的に活用した授業改善のポイント

## ① 様々な感覚を働かせて音楽を捉える場面で活用

音楽をつくる活動や音を聴く活動の際にプログラミングソフトや、記譜ソフト、自動演奏ソフトなどを活用することにより、児童は、音楽を音声と画像の両方で確認することができ、音楽表現を工夫したり、音楽を聴き深めたりすることができます。

## ② 学習の振り返りや学習成果を確認する場面で活用

範奏を聴きながら各パートを演奏したり、録音・録画した自分たちの演奏を客観的に聴いて確認したりすることにより、児童は、自分たちの演奏のよさや課題を見つけ、よりよい表現を探究するなど、主体的に学習に取り組むことができます。

### 【参考資料】

- ・音楽、図画工作、美術、工芸、書道の指導におけるICTの活用について  
(文部科学省)



- ・StuDX Style  
各教科等における1人1台端末の活用  
各教科等での活用〔小学校 音楽〕 (文部科学省)

